

14人にコーディネーター委嘱

住民構想を支援へ

エコ学区事業進めよう



ら引き出し、会議の
円滑な実施などで解決
や実施に導くのが役
割。

公募で選ばれた14人
は、事業の事務局を担
当している「地域公共
人材開発機構」（伏見
区）から委嘱状を受け
取った。委嘱は来年3
月末まで。

（松田ゆい）

地域単位で環境に優
しい活動を先進的に行
う京都市の「エコ学区」
事業で、住民の構想を
支援するコーディネー
ターの認定式がこのほ
ど、伏見区の龍谷大深
草学舎で開かれた。環
境問題のシンクタンク
の職員や公共政策の大
学院生ら14人が委嘱を
受けた。

委嘱状を受け取る「エ
コ学区」事業のコーデ
ィネーター（右）＝京
都市伏見区・龍谷大深
草学舎

始まり、有隣学区（下
京区）や藤城学区（伏
見区）など14学区が
省エネや実験的な温
暖化防止活動に取り
組む。コーディネータ
ーは各学区の課題や
活動の構想を住民か
ら聞き出し、会議の
円滑な実施などで解決
や実施に導くのが役
割。

公募で選ばれた14人
は、事業の事務局を担
当している「地域公共
人材開発機構」（伏見
区）から委嘱状を受け
取った。委嘱は来年3
月末まで。

（松田ゆい）